

令和5年度 上尾市立上平中学校 学校評価

1 実施時期

- (1) 自己評価 令和6年 1月9日
 (2) 学校関係者評価 令和6年 2月15日

2 実施内容

①自己評価の内容（段階評定法で4・3・2・1から選択）

1	全般	上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している。
2	学ぶ 価値	上平中学校の授業で先生は、日々の授業をわかりやすく教えている。
3		生徒達は、自ら考え主体的に授業に取り組んでいる。
4		上平中学校では、ICT機器（クロームブック等）を使った授業が充実している。
5		生徒達は、人の意見をしっかりと聞くことができる。
6		生徒達は、自分の考えをしっかりと人に伝えることができる。
7	思い やり	生徒達は、他者を大切にするとともに、困っている人がいたら助けることができる。
8		生徒達は、仲間と協力して活動することができる。
9	健康 安全	生徒達は、交通ルールやマナーを守っている。
10		生徒達は、健康保持・増進に努めている。（感染症予防も含む）
11		生徒達は、規則正しい生活を送っている。
12	主体 性	生徒達は、学校内外のボランティアや地域の活動に参加している。
13		生徒達は、将来の夢や目標を持っている。
14		生徒達は、学級活動（係）や生徒会活動（委員会・生徒会）、部活動で自分の力を発揮している。
15	生活	生徒達は、学校生活のルールやマナーを守って生活をしている。
16		生徒達は、自ら進んで気持ちの良い挨拶をしている。
17		生徒達は、時と場に応じた丁寧な言葉遣いができる。
18	生徒 指導 ・ 教育 相談	生徒達は、インターネット機器（スマートフォン、PC等）の使い方についてルールやマナーを守っている。
19		生徒達は、困ったことや悩んでいることがあった時、先生に相談している。
20		上平中学校では、いじめを絶対にゆるさないために、未然防止や迅速な対応をしている。

②参考として生徒アンケート、保護者アンケートも同内容で実施

③学校関係者評価委員会の開催

自己評価結果（生徒アンケート、保護者アンケートを参考）を学校関係者評価委員会で説明し、課題や成果について様々な角度から御意見や御感想をいただいた。

3 公表方法 学校だより及び学校ホームページにて公表

4 成果

(1) 自己評価の結果

		項目	平均値
1	全般	上平中学校の生徒の学校生活は、楽しく充実している。	3.63
2	学ぶ 価値	上平中学校の授業で先生は、日々の授業をわかりやすく教えている。	3.50
3		生徒達は、自ら考え主体的に授業に取り組んでいる。	3.29
4		上平中学校では、ICT機器（クロームブック等）を使った授業が充実している。	3.17
5		生徒達は、人の意見をしっかりと聞くことができる。	3.54
6		生徒達は、自分の考えをしっかりと人に伝えることができる。	2.96
7		思い やり	生徒達は、他者を大切にするとともに、困っている人がいたら助けることができる。
8	生徒達は、仲間と協力して活動することができる。		3.71
9	健康 安全	生徒達は、交通ルールやマナーを守っている。	2.25
10		生徒達は、健康保持・増進に努めている。（感染症予防も含む）	3.04
11		生徒達は、規則正しい生活を送っている。	3.04
12	主体 性	生徒達は、学校内外のボランティアや地域の活動に参加している。	2.46
13		生徒達は、将来の夢や目標を持っている。	2.67
14		生徒達は、学級活動（係）や生徒会活動（委員会・生徒会）、部活動で自分の力を発揮している。	3.42
15	生活	生徒達は、学校生活のルールやマナーを守って生活をしている。	3.38
16		生徒達は、自ら進んで気持ちの良い挨拶をしている。	2.71
17		生徒達は、時と場に応じた丁寧な言葉遣いができる。	3.38
18	生徒 指導 ・ 教育 相談	生徒達は、インターネット機器（スマートフォン、PC等）の使い方についてルールやマナーを守っている。	2.63
19		生徒達は、困ったことや悩んでいることがあった時、先生に相談している。	2.71
20		上平中学校では、いじめを絶対にゆるさないために、未然防止や迅速な対応をしている。	3.75

・「自己評価」の結果から、本校の教職員は、自校の教育をおおむね肯定的に捉え、特に平均値が高かった項目は、「学校生活は、楽しく充実している」「仲間と協力して活動することができる」「いじめを絶対に許さないために未然防止や迅速な対応をしている」である。

5 今後の課題と改善策

(1) 生徒主体の学校づくり

主体的・対話的で深い学びを目指す授業の展開とともに、学校教育活動全般において、生徒を主体とした指導を常に念頭に置き、生徒に考えさせ、行動させ、できたら褒める指導を繰り返し行う。

(2) 挨拶

「挨拶をしなさい」と押しつけの指導をするのではなく、時と場所に応じた挨拶や自分なりの挨拶について考えさせ、相手にもしっかり伝わり、気持ちの良い挨拶が表現できるように指導していく。

(3) 地域との連携

コロナ渦において、地域との連携が皆無であった事が大きく影響している。教員の働き方改革との兼ね合いも含めて地域としっかり連携できるような体制を構築する。

6 学校関係者評価委員の意見・感想等

(1) 意見・感想

- ・「生徒達は、交通ルールやマナーを守っている。」については、先生方の見る目が厳しいのでは。生徒が自分の安全を守れるようにすればよいのではないか。
- ・「生徒達は、健康保持・増進に努めている。」では、生徒はどう捉えているのだろうか。
- ・生徒主体の取り組みがたくさん行われており、特に上中祭では多くの生徒の笑顔が見られた。今後も生徒が達成感をもてる取り組みを増やして行ってほしい。
- ・いじめについては小さなところで芽を摘んでいく事が必要であると感じるため、引き続き取り組んでほしい。
- ・朝の挨拶・見守り月間の取り組みでは、どの生徒も挨拶を返してくれる。自転車通学の生徒もしっかりとヘルメットを被り、登校できている。
- ・バランスよく学校経営がなされていると感じる。

(2) 評価

- ・本校の学校評価は妥当である。